

でんち

一般 電池工業会
社団法人 BATTERY ASSOCIATION OF JAPAN

〒105-0011
東京都港区芝公園三丁目5番8号
機械振興会館内
電話 (03) 3434-0261 (代)
ホームページ <http://www.baj.or.jp/>
ご意見・お問い合わせ <http://www.baj.or.jp/contact/>
発行人 清水義正

2019年2月1日

新年賀詞交換会を開催

一般社団法人電池工業会は、2019年1月11日、東京プリンスホテルにて「2019年新年賀詞交歓会」を開催した。また、これに先立ち同ホテル内の別会場で「2018年度優良従業員表彰」を実施した。



一般社団法人電池工業会 千歳喜弘副会長挨拶
皆様 明けましておめでとうございます。

今日の天気も非常に晴天ですが、今年の1月1日もいい天気です。さぞかし良いお正月をお迎えになったことと思っております。

さて、事務局からご案内があった通り本来であれば会長である田村からご挨拶すべきですが、海外出張ということで急遽代役を仰せつかりました。

はじめに、平素は経済産業省をはじめ各機関にいろいろご指導いただきましたこと、お礼を申し上げます。

振り返りますと、今年の電池工業会賀詞交歓会で乾杯の音頭を私がした頃は、いかに良い経済環境であったか。しかし、半年いたしますと米中の関税問題であるとかヨーロッパの政策の問題、またアジア・中東における地政学的なリスクの問題など一気に出てきました。非常に大きな変動が始まり、年末には株式市場が

大きく乱高下するという、一年前は全く夢にも思わなかったことが起こりました。

さて、国内に目を向けると昨年、清水寺の貫主さんが「災」という一字を書くほど、災害が多かったと思います。西日本の豪雨や大阪北部の地震、北海道の地震、また台風に至っては私も長いこと生きていますが東から西に行くような台風を経験したことはありません。また、多数の台風が来たことで多くの方が災害に遭われました。災害に遭われた方々にお見舞いを申し上げます。また、私は京都で育ち、京都に暮らしています。学生時代に大阪湾を上ってきた「第二室戸台風」で京都は非常に大きな被害を受け、私自身も危機感を覚えました。昨年、大阪湾を上ってきた台風21号の時は、京都で直撃を受け命に係わるほどの怖い思いをしました。そのように昨年は非常に災害が多くありました。

一方 本庶佑さんのノーベル生理学・医学賞の受賞、2025年の大阪万博が決まるということで日本が期待され評価された年でもありました。

さて今年でございますが、後半には消費増税もありますが、政府がいろいろな施策を打っておられます。世界景気については、昨日今日で若干株価は戻っているがまだまだ不安定な状況と認識しています。そのような状況下、我々が属する電池工業会においても何らかの影響を受ける年ではないかと思いますが、吉野先生からのお話では、電池は重要デバイスで益々電池事業は伸びていくとのお考えをお聞きしました。

そういう意味で、いつもの持論をお話しさせていただきます。日本の強みは何かというと、それぞれの技術の強み、それぞれの強みは絶対強みだと思いますが、もっと強いのはそれぞれの技術の融合、世界で勝てるための融合だと思っています。会社を超えて、非常に広い意味での融合こそ新しい時代、新しい付加価値を生む日本の強みではないかと思っています。この融合があれば新しい時代における新しい事業創生ができ、無限大の展開が開けるのではないかと思っています。それぞれの会社がお持ちの技術を融合して世界に勝てる事業体を作っていく、そのためにブラッシュアップしていかなければなりません。ましてや今年新しい元号が始まります。その中でしっかり事業の展開を図り、

電池工業会としても是非とも皆様の支えを受けながら発展を遂げていきたいと思っています。

結びですが、電池事業においては世界のお客様の期待にしっかり応えていけると思っており、今後ともに、業界あげてこの電池業界にふさわしい盛況を遂げたいと思っています。

最後に、今日お集りの皆様方、会社様のご発展とご健勝を祈願いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

経済産業省 商務情報政策局 情報産業課 菊川人吾課長挨拶



皆様 新年明けまして誠におめでとうございます。政府の立場から皆様へ一言ご挨拶申し上げます。

昨年起こった様々な災害について、被災地ではまだ大変なご苦労をされている方々、また残念ながら亡くなられた方々がいらっしゃいますので、新年のおめでたい席ではありますが改めてご冥福とお見舞いを申し上げます。

災害時には、皆様方の業界団体、各企業、個社の方々には、お忙しいなか災害復旧に暖かいサポートをいただいたことに改めて御礼を申し上げます。

特に北海道のブラックアウトの時には、電池が日々の暮らしを支え、皆様が多大な貢献をされていることが実感されたと思います。皆様の仕事が無ければ生活は進んでいかない、そういう意味で皆様の業界はある種の重要インフラであり基幹産業と感じております。

昨日まで、経産大臣としては初めてと思いますが、米国のCES（エレクトロニクスショー）を一緒に視察

してきました。今回のCESで、デジタルヘルスの分野が広い展示スペースを取っていました。その横にはスマートホーム、またその横にスリープテックという眠りの技術というものが展示され、デジタル化・IoT化・コネクテッド化というものが産業だけでなく日々の暮らし、健康そういうものすべてに入り込んできていることを感じました。

もちろん自動車分野でもそうですが、今年が目玉は空飛ぶタクシーといったものが出てきました。そのような無くてはならないものが、電池の分野です。

その意味で、災害の時に感じたインフラ産業としてだけではなく、産業基盤を支えるものと認識を新たにしました。

政府全体としても災害時の蓄電池がもっと普及していくような補正予算を用意しております。また、本日はいらっしゃる吉野先生に普段ご指導いただいている研究分野でもしっかりバックアップできるよう予算獲得をしております。

今年は年初から厳しい経済環境になっていますが、世界全体の経済動向、そしてセキュリティ、知的財産、環境問題など横断的な課題があり、皆様の業界にも重要な基幹産業であるからこそ率先して担っていただきたいという部分も多々あります。

厳しい年の幕開けになりましたが、普段は政府と民間企業、ビジネスとの関係はある程度距離をもってそれぞれ独立してやっていくべきと思います。しかし、このような難しい時代にはより緊密に連携をとってコミュニケーション良くやっていきたい。

本日は経済産業省の若いスタッフも来ているので、この機会に密接なコミュニケーションをさせていただき、また現場も見させていただいて日本の電池産業、世界に冠たる電池産業をより高めていきたいと思っております。

今年一年素晴らしい年になりますように祈念してご挨拶とさせていただきます。



皆様、明けましておめでとうございます。ご紹介いただきました通り、昨年日本国際賞を受賞させていただきました。電池工業会からも田村会長にご出席いただき誠にありがとうございます。また、多くの方々に祝福いただきありがとうございます。授賞式後の祝宴の席で天皇・皇后両陛下と色々な話をさせていただきました。

その際の両陛下は、受賞対象のリチウムイオン電池とはどういった電池なのかを事前に勉強されておられ、そのため非常に話題も弾み、電池とは重要なデバイスであるという話をさせていただいたことをご報告しておきます。

新年のご挨拶にあたり私なりの受け取り方をご紹介させていただきます。申し上げたいことは、昨年もそうでしたが今年は特に1995年の状況によく似ているというのがひとつの実感です。

1995年は、非常に国内が騒がしい年でした。年明け1月に阪神淡路大震災で近畿圏が大混乱、その後3月首都圏が大混乱した地下鉄サリン事件と騒がしい年でしたが、今から振り返ってみると現在我々が当たり前のように過ごしているモバイルIT社会に向けて世界中がスタートを切った年でした。統計データをとっても1995年からそういったものが垂直に立ち上がりました。

当然 リチウムイオン電池もその数年前に世の中に出していたが、しばらくもたもたしていた。それが1995年になると垂直立ち上がった。世の中、世界が変わるということはこういうことと実感しました。その時もいろいろな言葉が氾濫していました。今では当た

り前の言葉であるインターネット、マルチメディア、そういった類のこれからこんな世界になるということ象徴する所謂バズワードが氾濫しまくっていました。それが5年もすると実現しました。

では今年、非常に氾濫しているバズワード的言葉は、やれAIだ、IoTだ、更には車関係ではCASEとかMASとか何となくわかるが具体的に説明してくれと言われると誰も説明できない。怖いのはそれが必ず実現することです。形や言葉が変わることはありますがそこで議論されていた概念が必ず実現したことは過去の例で、今回も間違いなく実現するでしょう。

ただ本当に実現する姿を誰が正確に捉えるかによって勝ち負けが決まってくると思っています。そういう意味で2019年はどういう年になるかはこれからですが、少なくとも今から20年 30年後の人が2019年を振り返った時、あの辺が一つの潮目だったという状況になっているかと思っています。



非常にHAPPYなのは、次の大きな変革の中で電池、二次電池、リチウムイオン電池は今回も重要な役割を果たさないとはいけません。ある意味で責務と思っています。モバイルIT社会を実現するにあたってリチウムイオン電池は大きな貢献をしてきました。これからまた次の大きな変革に向かって一生懸命頑張っていくと思います。是非そういう意味合いでご苦労も多いと思いますが重要なミッションを担っていることはHAPPYなことと思います。

今日お越しの皆様方のこれからのご発展を祈念いたしまして私の挨拶とさせていただきます。

引き続き乾杯の音頭は、千歳副会長が務め、会は活況を呈した。賀詞交歓会は、正・賛助会員各社、経済産業省など政府関係、関連企業、関連団体など約350名の出席を得て、終始盛況のもと、村尾副会長の中締めで終了した。



優良従業員表彰

新年賀詞交歓会に先立ち、2018年度優良従業員の表彰式が行われ、千歳副会長より各受賞者に賞状と記念品が授与されました。

今回受賞の榮譽に輝いたのは、次の12社15名の方々です。

受賞者（順不同、敬称略）

榎本 未来	（エナックス株式会社）	幸野 豊	（NEC エナジーデバイス株式会社）
関口 邦久	（FDK 株式会社）	鈴木 伸次	（FDK 株式会社）
小島 徹	（株式会社GSユアサ）	高瀬 裕行	（株式会社GSユアサ）
遠藤 きよみ	（セイコーインスツル株式会社）	山田 信昭	（東芝インフラシステムズ株式会社）
鈴木 次郎	（東芝ライフスタイル株式会社）	藤江 史明	（パナソニック株式会社）
松本 勝彦	（パナソニック株式会社）	高橋 則之	（日立化成株式会社）
園部 建次	（古河電池株式会社）	小河 慎一郎	（マクセル株式会社）
原田 晋	（株式会社東北村田製作所）		



「電池月間PRキャンペーン」が終了しました。

2018年度電池月間キャンペーンイベントの「電池は正しく使いましょう」PRキャンペーンクイズは、2018年11月11日～12月31日にかけて実施いたしました。キャンペーン期間中は、地方テレビやホームページ等で広くキャンペーン内容を告知した結果、全国各地より多数の応募がありました。

キャンペーン広告は、①未使用・使用済みのボタン電池は、子供の手の届かないところに保管 ②電池交換は、子供の目にふれないところで行うなどからなる

4項目にわたる「コイン形電池・ボタン形電池の乳幼児の誤飲防止」に関するものと「電池の安全で正しい使い方」についてPRする内容で、期間中に寄せられた応募は、18,840通にのぼりました。沢山のご応募をいただきありがとうございました。

抽選の結果、10万円分の旅行券は、T.H様（鳥根県）、Y.H様（千葉県）、T.A様（愛知県）の3名の方が、1,000円分のQUOカードは100名の方が当選され賞品の発送も完了しました。




電池工業会からのお願い

電池は正しく使いましょう

11月11日～12月12日は 電池月間



！コイン形電池・ボタン形電池の乳幼児の誤飲にご注意ください！

とくに、コイン形リチウム電池の誤飲は、短時間で化学反応が起き最悪の場合、死に至るおそれがあります。

❑ どの製品にボタン電池が使用されているかチェックし、電池蓋が外れやすくなっていないか確認しましょう。



❑ 未使用、使用済みのボタン電池は、子どもの手の届かない場所に保管しましょう。



❑ 電池交換は、子どもの目に触れないところで行いましょう。



❑ ボタン電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に連絡し指示を受けてください。



安全で正しい電池の使い方

- 電池を乳幼児のそばに放置しない。
- 長い間使用しない時は、電池を機器から取り出す。
- 電池の取替えは全部まとめて。新しい電池と古い電池は混ぜない。





- 電池はショート(短絡)させない。
- 電池の⊕⊖を逆にして使わない。
- 乾電池やリチウム一次電池は充電しない。
- 電池や電池パックは分解、改造はしない。






「電池は正しく使いましょう」PRキャンペーンクイズ

◎旅行券 10万円 × 3名様 ◎QUO(クオ)カード 1,000円 × 100名様

問題: ○○に入ることは何でしょう？

プレゼントを当てよう!

☉☉月☉☉日は電池の日
12月12日はバッテリーの日

11月11日～12月12日は ○○ 月間

※お寄せいただいた個人情報は本目的以外に使用いたしません。

平成31年1月度の電池工業会活動概要

部会	月度開催日	委員会・会議	主な審議、決定事項
特別会議、他	11日(金)	2018年度優良従業員表彰式	正会員会社の内、12社15名を表彰。
	11日(金)	2019年賀詞交歓会	会員各社、政府関係者、マスコミ、OB等、約350名がご出席。
	16日(水)	第221回 講習実施委員会	沖縄県にて開催した蓄電池設備整備資格者講習の修了考査につき、合否を判定。
	18日(金)	広報総合委員会	2019年度事業計画・予算、手づくり乾電池教室の安全面への配慮、他。
	25日(金)	国際環境規制総合委員会	地域別アップデート、2019年度事業計画、他。
二次電池部会	8日(火)	電気車鉛分科会	SBA G 0805規格の改正審議、他。
	15日(火)	自動車鉛分科会	アイドリングストップ車用鉛電池規格制定審議、他。
	16日(水)	据置鉛分科会	JIS C8704、SBA G0304改正審議、他。
	17日(木)	産業電池技術サービス分科会	SBA G 0606改正審議、他。
	18日(金)	用語分科会	SBA S 0405規格の改正審議、他。
	18日(金)	充電器分科会	SBA G 0901、0902の改正審議、他。
	21日(月)	環境委員会	欧州、米国の環境規制情報の確認と情報共有、他。
	24日(木)	自動車技術サービス分科会	TS-008、TS-012改正審議、他。
	24日(木)	PL委員会	安全表示ガイドライン改正審議、他。
二次電池第2部会	29日(火)	産業用電池リサイクル委員会	広域認定変更申請の状況審議、他。
	15日(火)	法規WG	蓄電池の規制検討。
	15日(火)	据置LIB分科会	IEC規格対応。
	18日(金)	産業用ニッケル水素分科会	IEC規格対応、審議。
	18日(金)	駆動用車載LIB委員会	車載LIBのリユース・リサイクルへの対応審議、他。
	21日(月)	再資源化委員会	蓄電池再資源化に関する対応。
	22日(火)	リチウム二次分科会	2018年度事業報告と2019年度事業計画まとめ、IEC62133-2検討、JIS C 8712-2 原案作成検討、他。
	23日(水)	国際電池輸送委員会	危険物輸送の国際会議に関する対応。
	23日(水)	蓄電システムWG	認定の手引改定検討。
	23日(水)	環境規格分科会	IEC規格対応。
	24日(木)	ニカド・ニッケル水素分科会	IEC、JIS規格の審議。
	24日(木)	普及促進委員会	蓄電池システムの普及促進検討。
	25日(金)	国際電池規格委員会	IEC IEEE 規格対応。
一次電池部会	29日(火) 30日(水)	IEEE 1725 国際会議 (米国 オースチン)	IEEE 1725規格対応。
	8日(火)	規格小委員会	IEC 60086シリーズの検討。
	9日(水)	リチウム小委員会	IEC 60086-4 ED5確認、IEC 62281 FDIS確認、リチウム電池輸送規則対応、他。
	10日(木)	リチウムコイン二次電池 国際規格WG	IEC 61960-4 審議(CDV対応、温度条件)。
	18日(金)	消費者委員会	コイン形電池誤飲防止パッケージの調査、支援物資対応、2019年度事業計画。
	22日(火)	ボタン電池回収推進委員会	2019年度事業計画。
	25日(金)	資材委員会	電池主要材料5アイテムの市場調査、下請法に関する意見交換、2019年度事業計画。

11月度電池販売実績（経済産業省機械統計）

（2018年11月）

単位：数量一千個、金額一百万円（小数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2011年1月より経済産業省の機械統計は「マンガン乾電池」を「その他の乾電池」に統合されました。

2011年1月より経済産業省の機械統計が「その他の鉛蓄電池」に「小形制御弁式」が含まれました。

2009年12月より経済産業省の機械統計が「その他のアルカリ蓄電池」に「完全密閉式」が含まれました。

「その他の鉛蓄電池」は「二輪自動車用」、「小形制御弁式」を含む。

（2011年～2012年は経済産業省機械統計の「酸化銀電池」は「その他の乾電池」を含む）

2012年より経済産業省の機械統計が「リチウムイオン蓄電池」は「車載用」が新設されました。

（2011年までの「リチウムイオン蓄電池」には「車載用」は含まれていません）

2013年より経済産業省の機械統計は「その他の乾電池」が削除されました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計	430,580	79,290	99%	94%	4,365,739	861,868	102%	108%
一次電池計	292,907	10,552	112%	103%	2,634,183	90,590	103%	100%
酸化銀電池	70,779	1,019	107%	97%	707,694	10,415	92%	83%
アルカリ乾電池計	127,564	6,264	116%	110%	1,014,269	44,986	115%	108%
単 三	—	—	—	—	—	—	—	—
単 四	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	24,101	1,833	126%	109%	158,011	12,574	111%	109%
リチウム電池	94,564	3,269	110%	94%	912,220	35,189	101%	98%
二次電池計	137,673	68,738	80%	93%	1,731,556	771,278	101%	108%
鉛電池計	3,052	19,216	95%	103%	29,045	176,790	99%	106%
自動車用	2,417	13,123	95%	104%	22,270	115,340	101%	108%
その他の鉛蓄電池	635	6,093	97%	100%	6,775	61,450	96%	101%
アルカリ蓄電池計	39,876	15,215	91%	96%	473,796	168,005	100%	103%
ニッケル水素	35,900	14,518	93%	98%	433,955	160,244	101%	105%
その他のアルカリ蓄電池	3,976	697	76%	68%	39,841	7,761	89%	75%
リチウムイオン蓄電池計	94,745	34,307	76%	87%	1,228,715	426,483	102%	112%
車載用	60,044	24,574	80%	102%	777,570	297,855	110%	123%
その他	34,701	9,733	68%	64%	451,145	128,628	90%	93%

11月度電池輸出入実績(財務省貿易統計)

(2018年11月)

単位：数量一千個、金額一百万円（小数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

2012年より二次電池の輸入項目「その他の二次」が「ニッケル水素」「リチウムイオン」「その他の二次」に分かれました。

2016年より一次電池の輸入項目「アルカリ」が「アルカリボタン」「アルカリその他」に分かれました。

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計（輸 出）	202,115	48,209	94%	103%	2,368,221	543,949	97%	113%
一次電池計	104,960	2,571	120%	98%	1,042,980	28,160	95%	97%
マンガン	0	0	0%	0%	28	1	1770%	21%
アルカリ	5,048	91	97%	83%	39,904	828	93%	96%
酸化銀	49,351	686	123%	126%	467,477	6,290	89%	99%
リチウム	50,552	1,669	121%	93%	534,526	19,001	101%	92%
空気亜鉛	0	0	—	—	790	8	85%	82%
その他の一次	11	126	111%	78%	255	2,032	674%	183%
二次電池計	97,155	45,638	75%	103%	1,325,241	515,789	99%	114%
鉛蓄電池	155	1,168	76%	77%	1,963	15,597	99%	108%
ニカド	1,545	180	52%	63%	15,490	1,745	77%	86%
ニッケル鉄	0	0	—	—	1	3	2011%	222%
ニッケル水素	8,993	8,262	97%	116%	138,488	89,429	97%	120%
リチウムイオン	79,676	19,895	75%	79%	1,075,255	261,038	99%	99%
その他の二次	6,786	16,132	65%	160%	94,045	147,976	105%	152%
全電池合計（輸 入）	188,850	21,236	124%	109%	1,433,509	180,313	110%	118%
一次電池計	178,891	2,943	124%	119%	1,338,997	21,887	110%	105%
マンガン	17,832	214	97%	90%	155,795	1,700	101%	97%
アルカリボタン	3,033	29	80%	116%	26,855	202	87%	88%
アルカリその他	135,927	1,855	130%	134%	959,214	12,336	114%	108%
酸化銀	200	6	150%	157%	2,031	66	162%	158%
リチウム	16,054	725	116%	122%	137,766	6,016	99%	106%
空気亜鉛	5,844	94	186%	156%	57,058	984	110%	105%
その他の一次	1	21	2%	12%	278	584	107%	78%
二次電池計	9,959	18,293	114%	108%	94,512	158,426	110%	120%
鉛蓄電池	816	3,853	106%	110%	7,291	34,026	98%	104%
ニカド	82	131	99%	62%	661	1,565	84%	84%
ニッケル鉄	0	0	—	—	1	1	8%	16%
ニッケル水素	2,383	458	122%	101%	21,587	4,431	102%	98%
リチウムイオン	6,541	12,827	115%	111%	63,622	106,760	115%	133%
その他の二次	138	1,025	67%	86%	1,350	11,642	105%	96%